

## ブレーキフルード エア抜き

## ブレーキフルード エア抜き

## 準備品一覧

1. ブレーキフルード補充
2. マスタシリンダエア抜き
3. ブレーキ系統エア抜き
4. ABS & トラクション アクチュエータASSYエア抜き (V S Cあり)
5. ブレーキフルード量点検

## ■ 注意 ■

- ブレーキシステムのエア抜きは、エンジンOFFの状態およびパーキングブレーキを作用させた状態で行う。
- ブレーキシステムの脱着作業を行った場合、またはブレーキライン内にエア混入の疑いがある場合、システムのエア抜きを行う。
- 塗装面にブレーキフルードを付着させない。付着した場合、直ちに洗い落とす。

## 1. ブレーキフルード補充

- a. ブレーキフルードの缶をリザーバの上に逆さにして立てる。

## ■ 注意 ■

缶の中に十分な量のフルードが入っていることを確認する。

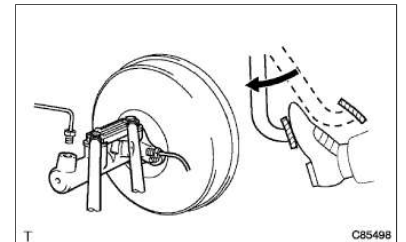
## 2. マスタシリンダエア抜き

## □ 参考 □

マスタシリンダの脱着を行った場合、またはリザーバが空になった場合、マスタシリンダのエア抜きを行う。

- a. ユニオンナットレンチを使用して、ブレーキチューブ2本をマスタシリンダASSYから切り離す。

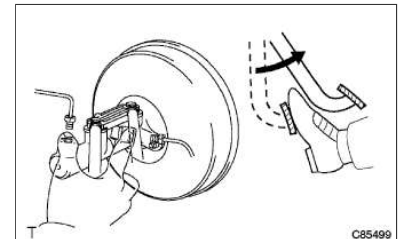
- b. ゆっくりとブレーキペダルを踏み込み、その状態を保持する。



- c. 指でチューブ穴をふさぎ、ブレーキペダルを放す。

- d. 指を放してゆっくりとブレーキペダルを踏み込んで保持し、再びチューブ穴をふさいでブレーキペダルを放し、これを3、4回繰り返す。

- e. ユニオンナットレンチを使用して、ブレーキチューブ2本をマスタシリンダASSYに接続する。



## 基準値:

T = 15N・m {153kgf・cm} (規定締め付けトルク)

T' = 14N・m {141kgf・cm} (ユニオンナットレンチおよびトルクレンチ230F使用時の読み)

## 3. ブレーキ系統エア抜き

- a. ビニールチューブをブレーキキャリバまたはホイールシリンダのブリーダプラグに接続する。
- b. ブレーキペダルを数回踏み込んで、ペダルを踏んだままブリーダプラグをゆるめる。
- c. フルードが出てこなくなった時点で、一旦ブリーダプラグを仮締めし、ブレーキペダルを放す。
- d. フルードの中のエアが完全に抜かれるまで繰り返し、ブリーダプラグを締め付ける。

## 基準値:

T = 8.3N・m {85kgf・cm} (フロントブレーキ ブリーダプラグ)

T = 8.5N・m {87kgf・cm} (リアブレーキ ブリーダプラグ)

- e. 同様にして、各ホイールのブレーキラインからエアを抜く。